

第二種奨学金(海外)貸与終期訂正願(延長)

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿

私は、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。つきましては、返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

■奨学生本人欄 ※氏名は自署が必要です。原本を郵送で提出してください。

記入日	(西暦)	年	月	日	生年月日	(西暦)	年	月	日	(満 歳)
奨 学 生 番 号					フリガナ					
8		0			氏名	(自署)				
学校名						学部・研究科名				

■訂正内容

(1) 貸与終期

訂正前の貸与終期	2	0			年			月			⇒	正しい貸与終期	2	0			年			月		
----------	---	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	---------	---	---	--	--	---	--	--	---	--	--

【記入必須】いずれかの□にチェックをつけてください。
 在籍証明書に記載の卒業予定期を記入した。
 学校担当者と相談のうえ、卒業予定期を記入した。

貸与終期の延長を願う理由(該当する理由の□にチェックをつけてください)

(1) ファンデーションコース修了予定年月(現在の貸与終期)の前月10日が到来した(する)ため

(2) 在籍証明書に記載された卒業予定年月が誤っていたこと(証明書の誤記)が判明したため

(3) 学校の単位計算に誤りがあったことが判明したため

(注1) 貸与終期の延長に伴い、保証料月額が変更となります。

(2) 借用金額

借用金額(予定)										円
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※「借用金額」は、貸与終期訂正前に予定していた借用金額と、貸与終期を延長することで貸与される金額の合計金額を右詰めで記入してください。採用時に入学時特別増額貸与奨学金を貸与している場合は、当該金額を含めて記入してください(裏面「借用金額の記入例」を参照)。
 ※借用金額を誤って記入した場合は、裏面「借用金額の訂正方法」に従って訂正してください。

されず範
れませんが
囲ご
ます、内記
す。そに入
。まのおい
た他いた
、のてだ
行目、い
政的当た
機に該情
及利報及
び用(び
公さ奨
益れあ
まな
のた
の等ん
。選返
ら機奨
ら機況
学保に
学関
金証開
関する
の重入
複者情
受に報
給は、
の含奨
防ては
止等、
がが
等、が
の機、
た構与
た校務
に保、
照金返
す融還
る業務
があ個
人、を
た情含
場報部
合の料
は、う
の学
、ち
適保及
正証に
な管業
理務
に委
内必
に要
にお
な情
にす
て報
要こ
があ
がに
な保
の忠
証利
の機
情用
関提
提の
供提
が提
提供
され
供さ
まな

■連帯保証人・保証人記入欄

連帯保証人	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増額することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。
	住所 〒 - 電話番号 ()
	氏名(自署) 実印 生年月日(西暦) 年 月 日
保証人	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増額することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、本人が返還すべき返還未済額の3分の1を保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。
	住所 〒 - 電話番号 ()
	氏名(自署) 実印 生年月日(西暦) 年 月 日

(注) 連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)の添付が必要です。機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人変更届」を提出してください。

■親権者又は未成年後見人欄

(本人が未成年者(18歳未満)の場合のみ記入)

上記の者が現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。
 本人が未成年者(18歳未満)の場合は親権者の同意を得てから親権者欄に記入してください。後見人がある場合は同じく後見人の同意を得たうえで記入してください。

親権者又は未成年後見人	(親権者1又は・未成年後見人)
	住所 〒 - 電話番号 ()
	氏名(自署)
	(親権者2)
	住所 〒 - 電話番号 ()
	氏名(自署)

[様式11-1裏]

添付書類

共通の提出書類とそれぞれの事由に伴う書類を提出してください。

【事由(1)～(3)共通】

- 【様式11-1】(本様式)
- 連帯保証人の印鑑登録証明書(原本)
- 保証人の印鑑登録証明書(原本)

【事由(1)の場合】

- 【様式11-2】「進学計画書」
- 学部正規課程の入学許可書(日本語訳添付)
※入学許可書が出ていない場合は、進学予定の大学・学部の学校資料(学士号 Bachelor's Degree)の学位が記載されている箇所
- アカデミックカレンダー(学校名、最終試験/授業月に日本語訳添付)

【事由(2)(3)の場合】

- 正しい卒業予定年月が記載された在籍証明書(発行年月日が提出年月日から3か月以内のもの、日本語訳添付)
- 卒業予定年月が誤りであること及び誤った理由が記載された学校発行の証明書(発行年月日が提出年月日から3か月以内のもの、日本語訳添付)
※証明書が発行されない場合は、学校担当者(留学アドバイザー等)作成のレターでも可
- アカデミックカレンダー(学校名、最終試験/授業月に日本語訳添付)

提出期限

【事由(1)】

- ファンデーションコース修了月の前月10日

【事由(2)～(3)】

- 貸与終了月の3か月前

借用金額の記入例

例) 入学時特別増額貸与奨学金：30万円
 貸与月額：10万円
 ファンデーションコースでの貸与期間：2024年9月～2025年6月（10か月）
 学部正規課程での貸与期間（予定）：2025年9月～2028年6月（34か月）

【計算式】

- ① 入学時特別増額貸与奨学金：300,000円
- ② ファンデーションコース（2024年9月～2025年6月）：100,000円×10か月＝1,000,000円
- ③ 学部正規課程（2025年9月～2028年6月）：100,000円×34か月＝3,400,000円

①～③の合計 4,700,000円

※ ファンデーションコース修了月から学部正規課程進学月までの期間(2025年7月～8月)は、奨学金の貸与を受けることができません。合計金額に含めないようご注意ください。

借用金額の訂正方法

「借用金額」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正してください。

- ① 本人署名横に本人印を押印する。

フリガナ	ショウガク タロウ
氏名 (自署)	奨学 太郎 (奨学)

- ② 金額全体（1円の単位までのすべての数字）を二重線で消す。一部訂正不可。

借用金額 (予定)	4 2 0 0 0 0 0 円
--------------	----------------------------

- ③ 二重線の上から、本人印（本人署名横同一印）、連帯保証人実印、保証人実印を訂正印として押す。
 ※それぞれの印が重ならないように押印してください。

借用金額 (予定)	4 2 0 0 0 0 0 円
--------------	----------------------------

本人 連帯保証人 保証人

- ④ 余白に正しい借用金額を記入する。

借用金額 (予定)	4 7 0 0 0 0 0 円
--------------	-----------------

本人 連帯保証人 保証人